

AR243

2023年4月~6月号

アジア レポート



Bangladesh 訪問

チャレンジ! Bangladesh 会堂建設プロジェクト

表紙写真: Bangladesh・ラジシャヒ管区の村
撮影: 吉田 隆

Bangladesh 訪問

吉田 隆

アジア・アウトリーチ・ジャパン 主事

2023年3月、私は Bangladesh を訪問しました。Bangladesh は、イスラム教の国家です。そしてキリスト教未伝人口においては、世界第一位のベンガル族の国です。（日本は世界第二位ですが、これは決して望ましくない順位です。）私がこの国を訪問するのは5回目以上となると思いますが、今回伝道が成功しているにもかかわらず、礼拝を捧げる会堂が与えられていない村々を訪問して、非常に強いショックを受けました。



水と油で足を洗う歓迎

イスラム教の繁栄

第二次世界大戦後の1947年、インドは英国から独立しました。その時イスラム教の強い地域が東西パキスタンとして分離されました。その後、現在のパキスタンから抑圧されてきたベンガル族の国の東パキスタンは、1971年 Bangladesh として独立することになりました。

その後も Bangladesh は、イスラム教が非常に力を持つ国として発展してきました。国家予算（国民の税金）を用いて、現在も125の大モスク（寺院）建設が予定されているそうです。その一つ一つに数億円が費やされているのです。

さらに、Bangladesh のイスラム教は現在リバイバルを迎えているという話を聞きました。しばらく前には、Bangladesh の若者たちは、家の宗教がイスラムであったとしても自分たちは、熱心な信徒ではなかったそうです。しかしコロナ禍が続き、加えてロシアがウクライナに侵攻

したことにより、Bangladesh の社会は大きな影響を受けることになりました。

そういう社会情勢の中であって、イスラムのモスクでは終末思想が煽られているというのです。その関係で関心の薄かった若者たちが、イスラム教に熱心になっているのだそうです。

今回、私たちが働きをさせていただいた最初の村の近くには、一人の人物の献金によって建設されたイスラムの新しいモスクが建っていましたが、その建築費はなんと5億円であるとのことでした。一人の億万長者が建てたのです。

ウィリアム・ケアリーの宣教した地域

私たちは、二日間に渡って6つの異なる村で集会の奉仕をさせていただきました。この地域は、今からおよそ200年前に、近代宣教の先駆者であるウィリアム・ケアリーが宣教を展開した場所でもあります。ケアリーは、ベンガル地方で宣教を展開したと言われていますが、それは現在の Bangladesh とインドのベンガル一帯を含んでいました。

ウィリアム・ケアリーは、英国の貧しい靴職人でした。正式の教育は受けていないとはいえ、ラテン語、ギリシャ語、そしてヘブライ語を学んでいました。けれども東インド会社は、インドに渡ったケアリーの宣教活動に反対したため、インド滞在を合法化するためには、東インド会社の仕事をしなければなりません。仕事の合間を縫って、ケアリーは根気強く新約聖書のベンガル語訳を進め、1799年に完成しました。しかし東インド会社は彼にその印刷を許可しませんでした。数々の困難を克服して信頼を勝ち取ったケアリーとその協力者たちは次々と驚くほど仕事を進め、1813年の3月には、出版済み、原稿になっているもの、進行中の翻訳を合わせると、インドの重要な



一人の金持ちが建てたモスク

10言語に及んだことを報告することができました。



楽器の音楽で歓迎

6つの村を訪問

今回バングラデシュの北西部、インド国境にほど近い地域の6つの村を訪問する機会を得ました。

最初の村に近づくと、村人たちが楽器を奏で、踊りを踊って私たちを歓迎してくださいました。そして、ここはサンタリ族という少数民族の村であることを告げられました。ゲストである息子と私は、裸足になり、水と油で足を洗っていただいたのです。その時に、私がインド北部のシリグリという町を訪問した時にも、ある村に出かけて行った時に、同じ風習による歓迎を受けたことを思い出しました。確かにあの民族もサンタリと呼ばれていました。ここからインドのシリグリまでは、わずか16キロメートルです。

後から知ったことですが、サンタリ族は今から180年ほど前に、英国人たちによってインドからこの地方に連れて来られ、森の仕事などに従事させられたとのこと。それから多くの年月が経過しましたが、サンタリ族の人々の生活はいまだに非常に貧しく、定職がない人々がほとんどです。

この最初の村では、現在68家族がイエス様を信じるようになりました。そして380人の信徒がいます。私たちが訪問した時は月曜日の午前中で普段は集会のない時間でしたが、100人以上の方々が集会のために集まりました。

ところが、この村には教会堂がありません。ある人々は木陰に座っていましたが、他の人々は日の照るところにしか座る場所がありません。周りには牛やニワトリなどの家畜が飼ってあります。



この地域に伝道が展開されて18年ほどになるそうですが、まだ700名ほどのノンクリスチャンがおり、彼らをイエス様に導かなければなりません。けれども、バングラデシュの雨季には雨がたくさん降り、村は洪水状態になるそうです。この広場で集会を持つことは非常に難しいことです。

現在は神様を礼拝するために、広場に集まっていますが、彼らが強く希望していることは、自分たちの会堂を持つことです。私たちは、2日間かけて、合計6つの村々を回り、この第一の村に似た状況にある他の5つの村でイエス様からの励ましのみことばを語りました。

ただ一つの村を除いていずれの村でも、教会堂がまだ与えられておらず、求道者を含めた信徒たちは、屋外での集会開催を余儀なくされています。主はこれらの村で働いてくださっており、昨年だけでも7つの新しい教会が新設され（会堂はありませんが）、703人の人々が信仰を告白して水のバプテスマを受けました。



集会の周りには家畜がいる

チャレンジ

Bangladesh は世界で最も貧しい国の一つです。周期的に洪水や台風といった自然災害が起これ、人々から財産や人命を奪っています。貧困は非常に深く根付いており、人口の約半分は 1 US ドル (145 円) 以下の水準で生活し

ています。ですから、日本のクリスチャンが何とか彼らを助けてあげられないでしょうか？ 今回、アジア・アウトリーチ・ジャパンは、みなさまと協力して彼らに会堂を建てる援助をしてあげたいと思います。

是非神の国の働きのために、力を与えてください！

チャレンジ！ Bangladesh 会堂建設プロジェクト

Bangladesh に会堂を建設しよう

一つの会堂の建設費は 280 万円です。現地の教会の信徒は建設のために奉仕します。

教会・教団・個人でまとまったご献金 (50 万円以上の) をいただいた場合、会堂玄関に名前を刻んで現地の教会は名前を挙げてお祈りします。

これは祈りによって神の国の相互関係を強めるプロジェクトです。

詳しい資料をご希望の方は、aojoffice@gmail.com まで、Bangladesh 会堂建設プロジェクトについてお問い合わせください。

アジア・アウトリーチ・ジャパン 2022年度 会計報告 (2022年1月1日~2022年12月31日)

| 収 入 | | 支 出 | |
|---------------|-----------|---------------|-----------|
| 一般献金 | 1,561,464 | 国内経費 | 1,572,543 |
| 国外向け指定献金 | 824,750 | 海外送金 | 818,213 |
| 国内 (災害等) 支援献金 | 56,000 | 国内 (災害等) 支援献金 | 182,368 |
| 収入合計 | 2,442,214 | 支出合計 | 2,573,124 |
| 前年からの繰越金 | 984,293 | 次年度繰越金 | 853,383 |
| 総 計 | 3,426,507 | 総 計 | 3,426,507 |

主事：吉田 隆 会計：レフトサーリ・サミベッカ神之助 監査：中島 教芳

編集後記

- かつて近代宣教を始めたウィリアム・ケアリーが種を蒔いた地に、今刈り取りが進行しています。彼らの礼拝のために簡素な礼拝堂を建設するプロジェクトにご献金いただければ幸いです。
- アジア・アウトリーチ・ジャパンでは、毎月特定のアジアの

国のための祈禱課題をメールで配信しています。ご希望の方は、aojapan@zeus.eonet.ne.jp にお申し込みください。同様に、このアジア・レポート PDF 版をご希望の方、アジア・レポート・ニュースレター (紙版) 増部をご希望の方もメールにてお知らせください。

迫害されている
クリスチャンの
ために祈ろう！
hakugai.org